



むし 虫はどうしてあんなにいろいろいるの

動物どうぶつの中なかでいちばん仲間なかまの種類しゅるいが多いおお

世界せかい中で知られているこん虫ちゅうは、およそ75万種類まんしゅるいで、毎年まいとし、どこかで、新しい種類あたらしゅるいのこん虫ちゅうが発見はっけんされています。そのうち、100万種まんしゅをこえるだろうといわれています。なぜ、こんなに種類しゅるいが多いおおのかという理由りゆうは、次のようなことがあげられます。

はねはねがあってどこでも行けるい

こん虫ちゅうは、羽はねがあって飛べるものが多いおおので、えさやすみかを探して、生活せいかつしやすい所ところへ自由じゆうに移動いどうできます。だから、世界の各地せかいに広がっていき、そこでまた、周りに適した体まわてきのつくりのこん虫ちゅうに進化しんかしていき、新しい種類あたらしゅるいの仲間なかまが増えるということがくり返されてきました。氷こおりの世界せかいの南極なんきょく、山やまのてっぺん、砂さばく、光ひかりのささない地底ちてい、土つちの中なか、水みずの中なかなど、どこにでも、こん虫ちゅうの仲間なかまはいます。

たもの食べ物たものや、すみかが分わかれている

また、1本の木ぼんの周りまわりで探してみると、根ねのしるを吸う虫すむし、幹みきの皮かわの下したにすむ虫むし、葉はを食べる虫たべむし、木の幹みきのしるを吸う虫すむし、ほかの虫むしを待ちかまえてとって食べる虫たべむし、ほかの虫むしの体内たいないに卵たまごを産みつける虫うむし、花はなのみつを吸う虫すむし、などがいます。このように、こん虫ちゅうは、すみ場所ばしょも、食べ物たものも、種類しゅるいによって細かく分わかれていて、それぞれが生きていけるようになっています。

こん虫ちゅうは、ほかの動物どうぶつと比べて、体からだが小さいので、えさは少しですみ、すみかも、ちょっとしたすみ間まがあれば、生活せいかつしていけます。そのため、仲間なかまが増えても、えさがとくに不足ふそくするようなことにならないのも、仲間なかまの多い理由りゆうです。（監修・中山 周平）

